

平成26年度 事業報告

1 平成26年度事業概観等

(1) 施設概要

- ①施設名 日本丸メモリアルパーク
- ②所在地 横浜市西区みなとみらい2-1-1
- ③対象施設等
 - ・帆船日本丸 総トン数 2,278t
 - ・横浜みなと博物館 7,155.31㎡
 - ・研修施設 873㎡
 - ・緑地 38,100㎡
 - ・その他(タワー4棟)

(2) 施設管理者

- ①共同事業体 帆船日本丸記念財団・JTBコーポレートセールス共同 事業体
- ②代表団体 公益財団法人 帆船日本丸記念財団
- ③所在地 横浜市西区みなとみらい2-1-1
- ④代表者 金近 忠彦
- ⑤設立 昭和59年10月1日
- ⑥指定管理者期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日(第2期)

(3) 事業概観

平成26年度は、4月の西区70周年記念イベントと8月のピカチュウイベントが好調であったことにより、帆船日本丸・横浜みなと博物館の総合入場者数は、対前年比6.9%増の196,163人となり、横浜市との協約目標である19万人を達成することができました。また、観覧料収入は、対前年比4.8%増の30百万円となりました。日本丸メモリアルパークの入場者数につきましても対前年比1.9%増の129万人と横浜市との協約目標である120万人を達成することができました。

平成27年度は、第2期指定管理者の最終年度にあたります。4月には、帆船日本丸公開30周年式典を始め、7月には「世界海の日パラレルイベント 2015」が日本で開催される予定であり、この関連イベントに協力する等、様々なイベントを開催し、新たな魅力づくりとみなとの賑わい創出に向け、多様な事業に取り組んで参ります。

2 帆船日本丸事業

平成26年度は年次船体整備の他に休館日を重点整備に充て、帆走艤装、消防設備、排水設備を中心に、さらに居住区等の公開区域の保守整備に努めてきました。

また、海事思想の普及活動の一環として、日本丸を活用した市民参加型の事業展開を図り、市民の皆様へ日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めました。



平成26年度は帆船日本丸進水85周年目となりました。記念イベントを1月25日(日)に実施し、7,355名の入場者とともに誕生日をお祝いしました。

<85周年イベント>

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行いました。

○日常保守点検

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト、ヤードその他帆装艤装の点検整備 等

○年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査を実施しました。

- ① 中間検査受検工事
- ② 木甲板一部新替
- ③ ロイヤルヤード降下補修工事 等

○災害防止

- ① 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全の確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施



<海の日の総帆展帆>

(2) 公開事業

船内を289日一般公開しました。日本丸乗船経験のあるガイドボランティアによる船内ガイドを毎日実施し、お客様に大変ご好評頂いております。お客様のご意見を反映させることにより、サービスの向上に努めました。また、総帆展帆や満船飾を行うことで賑わいを創出するとともに、新たな取り組みとして、船内を見学しながら動物ボードをラリー形式でめぐる子供向けの「どうぶつさがし」シートを作成し、子供たちに楽しんでもらっています。その他、年間を通して広報活動に取り組み、帆船日本丸の魅力を多くの皆様にお伝えし、観覧者の誘致に努めました。



<どうぶつさがしシート>

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸は、青少年が船上訓練などを行うことにより海・船・港に関する知識を学ぶ教育施設であり、団体生活を行うことにより強い心と体を培う施設でもあります。帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図りました。



<海洋教室>

3 横浜みなと博物館事業

平成26年度は、市民ボランティアとともに、展示案内や教育普及活動、アウトリーチ活動（出前講座）を通して、船や港、海に親しみ、関心を深めていただけるように、こどもから大人、ファミリーまでが興味をもって楽しんでいただける体験的なプログラムを行いました。

特別展示事業では、春に開館25周年を記念して、今まで収集した所蔵品を中心とした「船の旅と横浜港—秘蔵コレクション—」、夏に「のぞいてみよう深海の不思議展4～深海生物フォトギャラリー～」、秋に創建120周年の大さん橋の歩みを紹介する企画展「日本の海の玄関 大さん橋物語」、2月からは「報道写真が映す戦後の横浜港 神奈川新聞社創業125周年記念」を開催し、好評を得ました。また、5月から3月まで日本丸船内を会場（1月から博物館1階展示室）に「日本丸日米修好通商百周年記念航海 中嶋房徳写真展」を開催しました。

開館25周年を記念した屋外イベントとして、芝生広場を活用した「横浜みなと映画祭」を行い、多くの入場者に楽しんでいただきました。



<横浜みなと映画祭>

(1) 常設展示事業

常設展示をよりよく知り、楽しんでいただくために展示案内ボランティアによる展示案内、説明を毎日実施しました。メンテナンスでは、良好な状態で見学できるよう日常の職員による点検・保守や不具合の修理、定期保守点検を行いました。また、1階展示室の「空から見た横浜港」の劣化した床面の航空写真を新規に撮影して更新し、常設展示「関東大震災と復興」に25年度企画展に合わせて実施した山下公園のボーリング調査で採取した震災当時のガレキの展示を追加しました。また、展示情報の更新を適宜実施しました。



<震災当時のガレキの展示>

(2) 特別展示事業

展覧会名	会期
「船の旅と横浜港―秘蔵コレクション―」	平成26年 4月19日～ 5月18日
「日本丸日米修好通商百周年記念航海 中嶋房徳写真展」	平成26年5月24日～平成 27年3月31日
「のぞいてみよう深海の不思議展4～深海生物フォトギャ ラリー～」	平成26年 7月19日 ～ 8月17日
企画展「日本の海の玄関 大さん橋物語」	平成26年10月4日 ～11月24日
「報道写真が映す戦後の横浜港 神奈川新聞社創業125周年 記念」	平成27年 2月14日 ～ 4月12日



<秘蔵コレクション>

*タイタニック日本人生存者の手記



<深海の不思議展4>



<大さん橋物語>

*大さん橋のつくり方の動画

(3) 教育普及事業

年間を通して小・中学生及び大人を対象とした各種教育普及活動を行いました。25年度に始めた「船と港の夏休み自由研究」を引き続き実施し、前年度の約3倍の小学生が参加しました。市内の小学高学年向けには、海と船に親しむ1年間のプログラムによる横浜みなとキッズクラブの実施、また、入館者向けに毎週土曜日はキッズのためのクイズラリー、教育活動ボランティアの協力で船の折り紙教室を、毎週日曜日と祝日にペーパークラフト教室を開催しました。

4 緑地管理及び研修施設事業

港湾緑地の日本丸メモリアルパーク内を、公共の場としてふさわしい安全性を確保し、環境に配慮した維持管理を行いました。

(1) 緑地の維持管理・活用

○安全管理・美化

老朽劣化による歩道タイル等の不良箇所の補修改善や、高木の枯枝除去や、蚊の駆除などを実施し、緑地利用者の安全を確保しました。また、年間を通して季節に適した草花を配し、緑と花の保全を行うとともに、新たにミュージアムショップの西日対策を兼ねてゴーヤ、リュウキュウアサガオ、パッションフルーツ等からなるグリーンカーテンを設置・育成し、好評を得ました。



<グリーンカーテン>

○撮影

休館日を含めたメモリアルパーク内緑地での撮影により、利用件数では前年度比178%、利用料金では155%と伸びることが出来ました。

○催事

市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で年間13回のフリーマーケットを開催、ピカチュウイベントやよこはまエンジョイウオーク2014を始めとする横浜市との連携イベント等さまざまなイベントで緑地を活用いただきました。



<フリーマーケット>

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

立地条件のよさに加え、利用申請のメール対応や請求書対応などにより利用料金を114%と伸びることができました。

5 水辺の賑わい創出事業

日本丸メモリアルパークの内水域及び汽船道側静水域において、NPO横浜シーフレンズと連携しシーカヤック体験教室を開催し、インナーハーバーの賑わいを創出いたしました。

○シーカヤック体験教室等

平成26年度のシーカヤック教室は、延べ61回の教室を開催し、1,365（有料人数ベース）名の皆様に参加いただきました。今後も、メモリアルパークの参加型事業の柱の一つとして取り組んでまいります。

また、『第3回日本丸杯カヌーポロ』大会を実施し、より多くの方々に参加いただき、インナーハーバーの賑わいを創出いたしました。



<シーカヤック教室>



<カヌーポロ大会>

6 広報プロモーション等

(1) 旅行会社への営業活動

学校の修学旅行また一般団体旅行誘致のため、割引施策を実施。ターゲットを絞って特定地域の旅行会社へDMを送りました。

(2) 小学校・中学校への営業活動

横浜市内、神奈川県内ならびに沿線の東京地区、みたとみらい線と直通となった埼玉方面、また当施設への来場や首都圏への訪問が増加している自治体の学校へDMを送り、修学旅行や遠足誘致に努めました。特に市内小学校については、きめ細やかな要望に応えるなど取り組みを強化し、61.0%にあたる208校の児童の皆様に来場いただきました。

(3) 横浜観光コンベンション・ビューローの台湾ワーキングへの参加、近隣ホテル内での夏休みイベントやキャンペーンの告知などを行いました。

(4) マスコミ 近隣住民 近隣施設等へのPR活動

マスコミにイベント等開催時に情報を提供するほか、展覧会の際はマスコミへの訪問営業を実施しました。観光案内所や近隣の博物館施設や市の施設などにはチラシ配布やポスター掲示を依頼し、事業PRを行いました。また、ホームページお週2~3回のペースで更新を行い、新鮮な情報の提供に努めました。

みたとみらい線の埼玉方面への相互乗り入れに合わせ夏休み期間中には、交通広告（車両中刷り掲載）を行い、誘客を図りました。

(5) 市・地域・他施設・青少年団体との連携・協力活動

横浜市西区役所区制 70 周年記念事業、ピカチュウイベントやよこはまエンジョイウオーク 2014、横浜トリエンナーレ等横浜市が開催する事業を日本丸メモリアルパークで実施しました。また、横浜市や近隣の博物館施設や企業等とも協同し、スタンプラリーや展示会、帆船日本丸進水 85 周年事業等を実施しました。西区 70 周年区民まつりや横浜マリノス、横浜市交通局、JTB 旅いくへのイベントの出展、共同事業体主催の旅いく（世界に 1 つだけの日本丸を作ろう！）を初めて開催しました。



<ピカチュウイベント>



<JTB 旅いく>

(6) 賑わい創出のための事業実施

ゴールデンウィークや夏休み、クリスマスや帆船日本丸進水記念日等では、親子で楽しめるイベントを企画・実施しました。



<餅つき大会>

(7) 海と山と丘の公園交流事業

神奈川県立相模原公園、国営アルプスあづみの公園と連携をとり、各公園と協力しながら日本丸写真展の実施等を行いました。また、各公園には日本丸 85 周年イベントにも参加していただきました。



<凧揚げ大会>

(8) 外国人向け事業の実施

外国人向けの入館案内サービス実施や、横浜観光コンベンション・ビューローの呼びかけによる外国人向けウェブクーポンに参加するなど外国人誘致に努めました。

また、他言語ガイドサービス（Wi-Fi を利用したガイドシステム）の導入の準備をしました。（4 月より導入）



<ガイドシステム>

7 その他

(1) コンプライアンス委員会等実施状況

- ① 平成26年8月28日 コンプライアンス委員会 開催
 - ・平成25年度業務観察指摘事項の点検結果について
 - ・神奈川県公益認定等審議会 立ち入り検査について
 - ・その他、事故報告について
- ② 平成26年11月23日・26日
 - ・外部講師による「マナー・ハラスメント研修」を実施
- ③ 平成27年2月17日・18日
 - ・ビデオ視聴による「コンプライアンス・個人情報研修」を実施

(2) アンケート調査報告 (モニタリング)

実施日 11月6日(木)～9日(日) サンプル数 300

			(前年比%)
① 総合満足度	満足+やや満足	98%	(±0)
② 場所	わかりやすい	96%	(+2)
③ 進水100年保存	賛成	98%	(±0)
④ 参加型体験	サンデーペーパークラフト	27%	(+5)
(認知度)	シーカヤック教室	32%	(±0)
⑤ 係員の対応	満足度(総じて)良い	95%超	(+5)
⑥ サイン	トイレ、エレベーター等わかりやすい	98%	(+3)

(*) 総合満足度、係員の対応等は高評価を維持しています。参加型体験については、マスク等をうまく利用し、認知度をアップさせるようにします。サインについては、出口等の表示を床面に白テープでわかりやすく改善を行ったため、「わかりやすい」が3%増加。

以上